

### 原稿③「うそ？ウソ！大研究」（滋賀県立図書館 林未希）

対象：小学校5年生 所要時間：約35分

みなさん、こんにちは。滋賀県立図書館から、ブック・トークに来ました、林といいます。みんなはブック・トークって知ってますか？ブック・トークは、とっても簡単に言うと「本の紹介」ということで、ひとつのテーマにそって、何冊かの本の紹介をすることを言います。今日は、「うそ・ウソ大研究」というテーマで、いろんな「ウソ」や「ホント」の本を紹介しますね。

さて、みんなの中に、生まれてから今まで、一度もウソについて怒られたことがないって人はいますか？…いないよね。一度ついてしまったウソがばれないように、次のウソをつかないといけなくなったりしたことはありますか？今ついたウソ、ホントになるといいのになあ、と思ったことはあるかな？

ノリコは、ひろった千円を交番に届けませんでした。いつもなら、ぜったいにそんなことはしないんですけど、その時は、どうしてもマンガ『ガラスの白鳥』が欲しかったんです。おこづかいが足りなかったノリコは、ひろったお金でマンガを買ってしまいました。ノリコの母さんはノリコの頬をぶちました。「万引きしてたのね！」「万引きしてないもん」…（P12～18 とぼしながら読む）。さあ、ノリコはどう返事したのかな？そして、この妖怪二枚舌とは、何をたくらんでいるのでしょうか。続きは読んでみてください。

この『二枚舌』は『心妖怪シリーズ』の1冊です。このシリーズは全部で5冊。1冊に3つの短いお話が入っています。どれも人の心の中にひそむ妖怪が出てくるふしぎでちょっぴり怖いお話です。

さて、妖怪二枚舌はウソをホントにできるって言ったけど、ホントがウソになっちゃうことってあるのかな？次に紹介する本は『よく考えて！ 説明のトリック 情報・ニセ科学』、『ウソ？ホント？トリックを見やぶれ』というシリーズの3巻目です。いろんなトリックが載ってるんだけど、今日は「ふしぎなアンケート調査」というページを紹介します（p38の事例を紹介）。

あれ？これは、同じアンケートの結果を報道したんだよね？なんだか正反対の結果に見えるんだけど…でも、どちらもウソをついている訳ではないんです（アンケートの質問と回答の結果を説明）。この「どちらとも言えない」、確かに「賛成」では無いです。でも「賛成ではない」って反対してるみたいだね。「どちらとも言えない」を選んだ人には、ダンスコンテストに全然興味ない人、賛成の意見も反対の意見もどちらも分かるところがあって選べない、って人、騒音対策さえちゃんとしてくれたら賛成だけど、今の計画なら反対、って人、いろんな意見があるはず。だから、この「どちらとも言えない」を反対のように見せるのはウソじゃないの？って思うんだけど、でも「反対57%」って言った訳ではないので「ウソをついた」とは言えないんだよね。なんだかモヤモヤします。

この『よく考えて！ 説明のトリック』には、ほかにも「血液型で性格がわかるの？」とか「水はことばがわかるの？」とか色んな面白い例が載っています。見てみてください。

さて、ウソをついてなくても、なんだかウソをつかれたような、さっきの新聞。これ、「だまされた」気がするから気持ちが悪くないのかも…。ウソって人をだますから良くないんだよね、きっと。うん、だますのって良くないこと…かな？

実はね、私はほんのちょっとだけ先のことが予言できるんですよ。いやいや、ウソと違います。証明するから、一人手伝ってくれるかな？（『ふしぎ おもしろ てじなっこ』より手品する）。すごいでしょ、おばちゃんは〇〇君がどちらを選ぶか最初から分ってたんだ

よね〜…というのはもちろんウソ。もちろんこれは手品です。どうして分ったのかは、この『ふしぎ おもしろ てじなっこ』っていう本に載ってます。手品って、「タネもしかけもありません」っていうけど、それはウソだよね。でも楽しいウソだし、こんなウソならだまされるのも大歓迎。この『だまっしっこ』シリーズにはそういう楽しい「だましかた」、身の回りのものでできる手品がいっぱい載ってます。ぜひ遊んでみてね。

さて、ここで考えてほしいんだけど、ウソをつくのは人間だけ？ 動物や植物は言葉を話さないから、ウソはつかない、かな？ じゃあ、さっきの本みたいに「だます」ことならどうでしょう。ヒト以外の生き物は、他の生き物のことをだましたりすると思う？ 実は、みんなもだまされてるかもしれないんだよ。ちょっとこの写真を見てみてください…（『さがそう！ まねする虫』p12）これは何かな。…ハチ？ でも、ここを見て。「ハチのふりしてる虫なんびき？」って書いてあるね。実は、この48匹の中には、ハチのふりをしたガやハエやアブが16種類も隠れてます。ハチのふりをすれば、毒があると思われるから、安全なんだ。みんなもだまされてるかもね。じゃあ、この中に虫は何匹かくれてるかな？（『虫のかくれんぼ』からクイズ）この虫は日本にいないのが残念だけど、このカレハガや〇〇なんかは、日本にいる虫だよ。この虫たちは、どうして樹や葉っぱのふりをしてるのかな。そう、自分たちを食べる鳥や動物から身を守るためだね。「ここには虫なんかいませんよ〜、葉っぱしかありません」ってウソをついて、まわりの自然とうまく一緒になって、見つからないようにしているんだね。

さて、今紹介した虫みたいなことって、みんなもしたことないかな？ みんなは、天敵にみつかって食べられちゃう、なんてことはないかもしれないけど、まわりの友達から変な子と思われなかな、とか、目だっていじめられないかな、と思って、みんなと同じように、目立たないように、一緒のフリをしたことが、あるんじゃないかな？ 次の絵本『ストライプ たいへん！ しましまになっちゃった』のこの子、カミラもそんな女の子でした。（最初からとぼしとぼし読む）さあ、カミラは元に戻れるのかな？

友達と違ったことをして変な子、って思われるのがイヤなものも、自分の好きなものは好きって言いたいのも、どっちも本当の気持ちだよ。本当の気持ちって、自分でも良くわからなかったりするよね。ウソをつく方が簡単で楽だな、って思ってしまった事はありませんか。

次に紹介する『ハッピーノート』の主人公聡子も、そんな女の子です。

聡子は6年生。4年生の時に自分で中学受験をする、って決めて塾に通っています。受験をする事にしたのは、今の友達と離れたかったから。その時一緒のクラスだった友達は、なんでもその子が言う通りにしないと機嫌が悪くなる子でした。休み時間の過ごし方はこう、あの子とは遊んじゃダメ、休みの日は私の試合を応援しに来て、だとか…。聡子は本当はその子がイヤだったんだけど、そう言えなくて、その子の言う通りにしていました。中学受験すれば、その子と同じクラスになる事はない、そう思って塾に通うことにしたんです。

5年生になって、聡子には仲良しが3人出来ました（P25〜から説明）。聡子はのり子の世話焼きにはウンザリしているんだけど、前と同じで行きたくもない誕生会でも「すごい楽しみい！」なんて言ってしまいます。そんな聡子にも最近楽しいことがあります。ずっと塾で気になっていた男の子、霧島くんと、塾帰りにミスタードーナツで一緒に復習できるようになったんです。毎日復習のための交換ノートもしてくれる霧島くん、でも塾で会った時には挨拶すらしてくれません。「どうして塾では話しかけてくれないの？」本当はそう聞きたい聡子だけど、やっぱり聞けない…。聡子は誰かに自分の本当の気持ちを伝えることは出来るのかな？ 霧島君とはどうなっちゃうんだろう、それから、聡子には見えていなかった色々な人の色々な「本当」が見えてくる『ハッピーノート』、ぜひ読んでみてください。

さて、次のお話『カメキチの泣くな！王子様』に出てくる池野かめきち君は、つきたくないのにウソをつかなきゃいけなくなっちゃったんです。人をだまそうとも思ってないし、自分を守るためどころか、自分が困ったことになっちゃうんだけど、ホントのことが言えないんです。事件は、ある朝始まりました…（冒頭から少し読む）。

トロフィーがなくなったことも大変だけど、実はそれだけでみんな大騒ぎしてるんじゃないんだ。このトロフィーはね、もしこわれたりするとクラスに悪いことが起こる、というウワサのトロフィーなんだ。先生は、「そんなもん、ウワサや！ 信じるな」って言うけど、でも、10年前に、このトロフィーを壊した男の子が交通事故にあったのはホントらしい。それで、みんな心配してるんです。

ところが、この日の晩には、このトロフィー、かめきち君の机の下にありました。ううん、かめきち君が盗ったんじゃないよ。実は、これはある人が訳あって持って帰っていたものなんだ。かめきち君は、この人に呼ばれて、トロフィーをみんなに分からないように、こっそり返しておいてほしい、って頼まれたの。実は、トロフィーが消えたのには、クラスのみみんなを思った深〜い訳があったんです。でもそれは、その人とかめきち君2人だけの秘密。みんなには秘密ねって約束したんです。

ところが！ 机の下に隠してあったトロフィーを、親友のしんごにみつかってしまって…（「ほんとうのことを言ったらわかってくれるかも…でもやくそくが」のあたりを読む）。さあ、かめきちはどうなるのかな？ 大事な友達に本当のことを言って仲直りしたい！ でも、約束もやぶりたくない…がんばれかめきち！

このかめきち君のおはなしも、全部で3冊のシリーズになってます。3年生のおはなしなんて子どもっぽいと思うかもしれないけど、大人の私が読んでもホントに楽しいので、このおはなしが気に入った人は、他のおはなしも読んでみてね。

今日はいろんな「ウソ」の本を紹介してきました。最後は詩をひとつ読んで終わりにしたいと思います。

みんな、谷川俊太郎さん、って知ってるかな？ 最後に紹介するのは、谷川さんの詩で「うそ」です。聞いてください（「うそ」読む）。

この詩は『はだか』っていう谷川さんの詩集に載っています。この詩集は、ぜんぶ「こどものことば」で書かれています。ほら、ひらがなばかりでしょう。「こどものことば」なんだけど、今の詩みたいに、わかるような、難しいような、良くわからなくても心に残るような詩がたくさん載っているので、読んでみてください。

はい、今日は「うそ？ ウソ！ 大研究」というテーマで本を紹介しました。今日紹介した本は、しばらく先生にお預けして帰ります。ゆっくり読みたい時は図書館にあるから、ぜひ借りにきてね。それまで、本の名前とか覚えてられへん？ 今日紹介した本を書いた、このプログラムを先生に渡しますので、後で貰って下さい。長い間聞いてくれてありがとう。これで、今日のブックトークを終わります。

2019年12月4日(水)  
草津市立草津小学校 5年生 ブックトーク  
滋賀県立図書館

# うそ？ ウソ！ 大研究

物語 『二枚舌』<sup>まい</sup> 心妖怪シリーズ5 <sup>うちだりんたろう</sup> 内田麟太郎 // 作 ささめやゆき // 絵 佼成出版社

科学 『よく考えて！ 説明のトリック』<sup>いちむらひとし</sup> 市村均 文 <sup>そぎまこと</sup> 曾木誠 監修 岩崎書店

絵本 『ふしぎ？おもしろ てじなっこ』

<sup>さえきとしお</sup> 佐伯俊男 さく 福音館書店 (かがくのとも2001年12月号)  
『だましっこ』『てじなで だましっこ』などほかにも『だましっこ』の本がたくさんあるよ。

科学 『虫のかくれんぼ』<sup>うんのかずお</sup> 海野和男 さく 福音館書店

『海野和男のさがしてムシハカセ 3 さがそう！ まねする虫』<sup>うんのかずお</sup> 海野和男 著 偕成社

絵本 『ストライプ たいへん! しまもようになっちゃった』

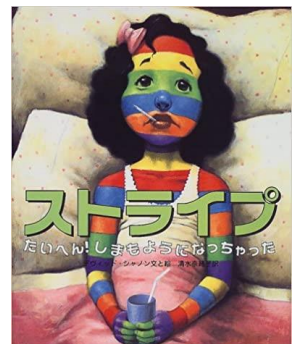
デヴィッド・シャノン // 文と絵 <sup>しみすなおこ</sup> 清水奈緒子 // 訳 セーラー出版

物語 『ハッピー・ノート』<sup>くさの</sup> 草野たき 作 ともこエヴァーソン 画 福音館書店

物語 『かめきちのなくな! 王子様』<sup>はせがわよしゆみ</sup> 村上しいこ // 作 長谷川義史 // 絵 岩崎書店

詩 「うそ」 『はだか』<sup>たにかわしゆんたろう</sup> 谷川俊太郎詩集』より

<sup>たにかわしゆんたろう</sup> 谷川俊太郎 著 <sup>さのようこ</sup> 佐野洋子 絵 筑摩書房



\*ここでしょうかいした本は、<sup>ぜんぶとしよかん</sup> 全部図書館にありますので、かりにきてね。もしみつからないときは、<sup>かしたしちゆう</sup> 図書館の人に聞いてくださいね。貸出中のときは「よやく」もできます。